

人の本質を映し出す、奥深いアイテム

男にとっての腕時計、 女にとっての腕時計

高額だからこそ、慎重に吟味されるアイテムは、その人らしさを
映す鏡のような存在と言える。男にとって、女にとっての腕時計とは？
中村史郎氏、中野香織氏の2人が、究極の道具について語った。

黒瀬康之 ●撮影 河島裕子 ●取材・文
photo: Yasuyuki Kurose text: Hiroko Kawashima



中村史郎さん

日産自動車常務執行役員
チーフクリエイティブオフィサー
武蔵野美術大学（工業デザイン
専攻）卒業、1981年 米国アーティ
センター・カレッジ・オブ・
デザイン トランスポーティデザイン
イン首席修了。いすゞ自動車を
経て、99年日産自動車に入社。
2000年デザイン本部長、01年常
務。06年より現職。

中村さん愛用の一品は「ジラ
ール ベルゴ」。さりげなく、
シンプルを極めたデザイン。

中野香織さん

服飾史家・コラムニスト
東京大学文学部および教養学部
卒業。東京大学大学院総合文化
研究科博士課程単位取得。ケン
ブリッジ大学客員研究員などを
経て、文筆家に。著書に『モード
の方程式』（新潮社）などがあ
る。現在、数々の新聞、ファッ
ション誌にて執筆中。

中野さん(以下敬称略) 男性

にとつて時計ってどんな存在でしよう? 車好きの男性は、

時計も好きという場合が多い

ように見受けられますか?

作り手の魂に触れられる 機械式にこそ魅力を感じる

— 中野さん

中野さん(以下敬称略) 男性

車好きの男性が好むのは、メカニ

カルな部分を語れる時計。車

で言えばスポーツカーのよう

な。スペックを知り、語るこ

とが面白いんでしょう。

中野 スペックを濃密に語る

男性って、オタクとみなされ

たりもしますが(笑)。でも今

ではコノシュアっていうす

きな呼び方もありますよね。

ライフスタイルを語る

腕時計^{※注1}という道具

中野 それにもしても、今は時

計の情報があふれています。

だから逆にこんな時計を着

けている男性は、こんなライ

フスタイルが好きなのかな、

なんてイメージで見てしまう

ことも。

中野 確かに、時計でその人

のライフケースやキャラク

ターが分かるというのは理解

できますね。時計はスースよ

りも男を語るかもしれない。

中野 女性には、バッグや宝

石といった、その人の個性を

分かりやすく表現する小物が

多いですが、男性にはほとん

ど時計ぐらいですものね。

中野 男性は自己を表現する

ためのアイテムが女性より少

ない分、一つ一つのアイテム

がより重要になつてくる。時

計に強いこだわりをもつ男性

が多いのはそのためではない

でしょうか。

中野 でもここ2、3年急速

に、女性にとつての時計も、

「男性にとつての時計」と近い

意味を持ち始めているよう

見えます。これまで、ジュー

エリーの延長感覚のものが多

かつたように思いますが、最近

は女性向けの機械式時計を出

すところが増えてきました。

中野 そうはいつても、やつ

ぱり女性向けのものはより装

飾性が高いですね。男性の

機械式の時計は、デザインの

遊びは少ないけれど、ブラン

ド性が色濃く反映されている

のも特徴ですね。

中野 それそれ、それです。

近年、管理職として活躍する

女性たちが求め始めている時

計は、今まで男性ワールドだけ

で君臨していたマッチョな

機械式時計に関心を示す女性

が増えているんですよ。

中野 確かに装飾性が高すぎ

い。機械式は機能感と装飾性

これが信頼性と結びつくんでし

ょうね、きっと。でも、男性

の目からご覧になつて、どう

なんでしょう、女性が、がつ

んと高機能の機械式時計を着

けているというのは?

中野 いいんじゃないですか

? 確かに格好いい機械式の

時計をしていると「センスい

いな」と思いますよ。ただ、洋

服の感覚と合わないものをし

ている人とか、時計のほうが

勝つてしまっている人は……、

うん、どうでしょうね。

中野 マニュファクチャール

(※注2)が作る機械式だけが

ご興味の対象、ということ?

中野 ムーブメントは車でい

えばエンジンみたいなもの。

つまりは心臓であり、まさに

ハート。そこに作り手の人間

性や魂を感じます。

中野 あー、その発想って「男

の子」って感じ。かないませ

ん。女にとって時計はブレス

レットの延長という感覚はあ

るけれど、工業製品として魅

力を感じるということは、あ

り、ムーブメントは車でい

ればエンジンみたいなもの。

（※注3）が作る機械式だけが

ご興味の対象、ということ?

中野 ムーブメントは車でい

えばエンジンみたいなもの。

つまりは心臓であり、まさに

ハート。そこに作り手の人間

性や魂を感じます。

中野 あー、その発想って「男

の子」って感じ。かないませ

ん。女にとって時計はブレス

レットの延長という感覚はあ

るけれど、工業製品として魅

力を感じるということは、あ

るけれど、工業製品として魅

は、近づくことはあつても決

して同じにはならないのでは。

中野 そうですか? 女時計

の機械化、男時計の装飾化が

進めばいずれは同レベルにな

るのかな、などとも漠然と思

つてたんですが、甘かった。

それでも、毎年たくさん

のデザインが出てきますよね。

時計のデザインなんて、範囲

がすごく限られているのに。

中野 そうですね、時計のデ

ザインは本当にいい勉強にな

るんですよ。あの狭い数十ミ

リのサイズにあらゆるデザイン

の可能性を突き詰めている

というところが。

中野 流行もありますよね。

このブランドの不動の価値、

と言われていたものだつて、

時代に応じて変わつていて、

でも現状にとどまつていては

ダメで、時代と共に動いてい

かなくてはいけない。世の中

が求めている形から外れすぎ

てしまつたり、個性が持つ存

在感が違和感になつてしまつ

たらダメなんです。その境界

線を見極めるのが、デザイナ

ーの仕事なんですね。

中野 違和感にならない存在

感を發揮する…万事に通じ

る、深いお言葉です。

今、女性も本物を感じさせる
時計に目覚め始めている

— 中野さん

注1)二つの時刻を同時に表示できるシステム。ここで登場するジャガー・ルクルトの「レベルソ デュオ」は、裏と表で二つの文字盤を持つ。

注2)ケースに風防を固定するための文字盤の周りを囲む部品。近年は女性向けの時計ばかりではなく、男性向けの製品も装飾的になる傾向がある。